

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県	
政策目的		令和元年台風15号及び19号により被災した施設の復旧	
政策目標		漁港機能高度化目標	31-11
事業実施主体		鋸南町保田漁業協同組合	
実施地区名		鋸南町（保田地区）	
実施期間及び目標年度	実施期間		目標年度
	令和元年度		令和4年度
交付金額		24,196,000円	
事業計画の内容		令和元年台風第15号及び第19号により被災した施設を早急に復旧することで、浜の活力再生プランの遂行を図る。（食堂（3棟、1,561㎡）の修繕）	
評価	成果目標		1. 目標の内容 漁協自営食堂の来客数 2. 目標の考え方 被災した施設を現状復旧することで、事業総利益の回復を図る。
	現状値		来客数 〇〇〇人（事業損益 〇〇〇円）
	目標値		来客数 〇〇〇人（事業損益 〇〇〇円）
	（1）現状値の説明		目標年度である令和4年度の復旧施設（漁協自営食堂）への来客数実績を現状値とした。
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）		成果目標とした来客数について、目標値に比べ80.1%の実績となった。 近年続くコロナ禍の影響から、来客数に減少が認められるが、 客単価の向上及び原材料の高騰がある中での費用抑制が 利益の確保に繋がり、事業総利益は計画時を上回る結果となった。
	（3）所見		被災した漁協自営食堂の復旧により施設機能が回復し、 来客数も着実に増加したことで、 結果として事業総利益は被災前以上の回復となった。
	（4）評価機関の意見等		
今後の改善方向等に関する分析		施設復旧に伴う来客数の回復により、今後も安定した事業利益の計上が期待できる。	